

II 歴史に関するあとの問いに答えなさい。

1 日本や世界の鉱産資源に関する文章を読み、あとの問いに答えなさい。

弥生時代に大陸から a 青銅器や鉄器が伝えられ、b 古墳時代には渡来人が製鉄技術などを広めた。飛鳥時代から c 奈良時代、平安時代にかけて銅を加工した貨幣が発行されたが、鎌倉時代から d 室町時代には、日本で正式な貨幣はつくられなくなった。

15世紀から16世紀にかけて、ヨーロッパの国々が海路によって世界に進出した。e ポルトガルはインドを拠点に貿易で大きな利益をあげ、f スペインは中南米地域に銀山を開発し、大量の銀を持ち帰った。g 16世紀になると、スペイン人とポルトガル人は良質の銀を産出する日本を訪れるようになった。江戸時代になると h 各地の鉱山開発が進み、i 幕府は、主な鉱山を直接管理した。

産業革命が進展すると、欧米諸国のアジアへの進出が強まった。清と貿易を行っていたイギリスは、茶などを清から買う時に支払う銀が不足した。このような状況を背景にしてアヘン戦争がはじまり、j イギリスは条約を結んで、清から香港を手に入れた。この情報は日本にも伝わり、幕府に大きな衝撃を与えた。

(1) 下線部 a に関して、弥生時代の青銅器について述べた文として適切なものを次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

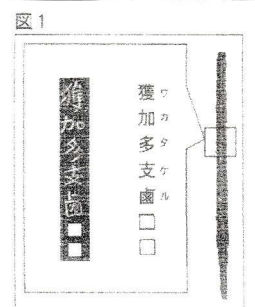
- ア. 狩りや採集で得た食料の調理や、保存のために主に使われた。
- イ. 指導者の地位や威厳を示したり、祭りの道具として主に使われた。
- ウ. インドや西アジアの文化の影響を受けた仏教寺院で主に使われた。
- エ. 各地から特産物を都に運ぶ時の荷札として主に使われた。

こたえ ... (イ)

弥生時代に稲作とともに青銅器も伝わった。指導者の地位や威厳を示すために使われたり、祭りのための宝物として用いられた。

(2) 下線部 b に関して、図1は埼玉県の古墳から出土した鉄剣である。この鉄剣に刻まれているワカタケルという人物名に続く空欄に入る語句を漢字で書きなさい。

(大王)



(3) 下線部 c に関して、この時代に聖武天皇が仏教の力で国を守ろうとして作った大仏をまつる寺院名を漢字で書きなさい。

(東大寺)